

(2) 配水池の能力

上水道事業における配水池の整備状況を見ると、令和4年度末は総数 801 池、総有効容量 2,273 千 m^3 である（表-6）。

配水池貯留能力は、給水に対する安定性を示す指標の一つであり、令和4年度末は、0.78 日である。

表-6 配水池容量（上水道）

区 分	池 数（池）	有 効 容 量（千 m^3 ）	配水池貯留能力（日）※
大 阪 市	49	604	0.56
大阪市を除く市町村	752	1,669	0.92
府 計	801	2,273	0.78

※配水池貯留能力（日）＝ 有効容量（ m^3 ） / 一日平均配水量（ m^3 /日）

(3) 配水管

令和4年度末における上水道事業の配水管総延長は 23,494.0 kmであり、配水管容量は約 938 千 m^3 で、令和3年度末に比べ配水管延長は 0.17%増加し、配水管容量は 0.11%の減少となっている（表-7）。

表-7 配水管延長と容量（上水道）

区 分	配水管延長 (m)	配水管容量 (m^3)	現在給水人口 1人当り容量 (L)	給水可能面積 1ha当り容量 (L)
大 阪 市	5,128,774	467,964	170	20,768
大阪市を除く市町村	18,365,187	469,631	78	4,266
府 計	23,493,961	937,595	107	7,070